

教育センターだより

令和7年1月27日発行

〒350-0451

毛呂山町毛呂本郷7-4

TEL 295-0622

FAX 295-8844

文責 毛呂山町教育センター統括指導員 田島章弘

本年もよろしくお願いたします

今年巳年です。巳（蛇）は執念深い動物というイメージがありますが、その一方で恩を忘れずに返す動物とも言われています。昔、中国の王様が救った蛇が、「夢に現れて財宝を捧げていった」という話も伝わっているそうです。巳年は「復活と再生」という蛇のイメージから「新しいことが始まる年」となると言われています。また、全国各地に蛇を祀った神社もあります。七福神の一員である蓄財・芸能の女神「弁財天」は、蛇の型をした神として祀られており、「蛇の抜け殻を財布に入れておくと金運がアップする」とも言われています。そこで、皆様が巳年の知恵を持ち、新しいチャンスを巧みに捉えることができますことを祈念しております。



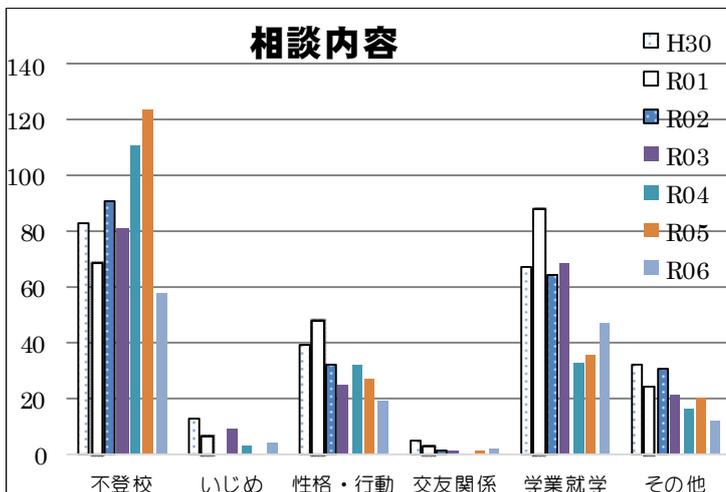
毛呂山町教育センターとしては、研修事業、相談事業をとおして児童生徒、教職員が互いを大切にしながら成長できるよう、支援・活動してまいります。

教育相談・就学相談

教育センターの役割として、大きく分けて3つあります。それは①教職員研修、②教育支援センター、③教育相談・就学相談です。なかでも教育相談・就学相談は大きな位置を占めています。下の表とグラフは今年度4月から11月までの8ヶ月間にご相談いただいた相談件数です。その間、のべ116件の相談活動を行い、町内の子供たちに関するご相談に対応してきました。もし、一人でお悩みのことがありましたら、お気軽に電話（295-2525）してください。

毛呂山町教育センターの相談状況（令和6年4月1日～令和6年11月30日）

	不登校	いじめ	性格・行動	交友関係	学業・就学	その他	合計
電話相談	27	3	13	1	27	9	80
来所相談	23	1	6	1	20	3	54



グラフを見ると電話相談・来所相談等の合計で、「不登校」についての相談がのべ60件と、最も多くありました。不登校については様々な原因が考えられます。地道に相談等を行い解決の糸口を見つけ、解消に取り組んで行かなければならないと考えています。次に、「学業・就学」の相談がのべ47件と多くなっています。多くは、令和7年4月に小学校へ入学するお子さんの就学相談です。相談をとおして安心して学校生活を送れるように行っています。

毛呂山町幼・保・小・中連絡協議会

上記の協議会は「町内の各園・校が互いに連絡協議し、研修会を実施し、会員の資質の向上を図り、もって毛呂山町の幼児教育・学校教育の充実・振興に寄与すること」を目的として、毎年研修会を行っています。今年度は、11月21日(木)にながせ幼稚園において年長園児の「スライム作り」の授業を参観し、その後話し合いをおこないました。2月には、川角小学校において授業参観を行う予定です。



人権教育授業研究会

11月29日(金)、越生班教育研究会との共催事業として人権教育授業研究会を川角中学校を会場として実施しました。教科は道徳です。指導者として嶋山町立亀井小学校千装将志校長先生をお招きし、研究授業は1年3組担任の小林恒太教諭にお願いしました。当日は「公平とはなんだろう」を教材とし、不公平と思う場面について、人によりその感じ方に違いがあることを実感できる授業でした。授業の参観後は、小グループに分かれて事前に示された視点に沿った話し合いを行い、その結果を発表しました。指導者の千装校長先生から、担任の先生と生徒との関係の良さがうかがえるとのことご指導をいただきました。



冬休み親子工作教室

12月26日(木) 幼稚園・保育園年長児を対象とした冬休み親子工作教室を教育センターにて開催しました。本センター職員を講師として、親子が協力して「おもしろだんボールボックス」を製作しました。夏休みの教室と同じ材料でしたが、前回参加した方が、今回は別の形にしたいと参加しましたとのことをお話をいただきました。親子で協力して楽しい飾りがついた箱となりました。

教育支援センターのご案内

毛呂山町教育センター内に教育支援センターがあります。各小学校内にも、校内教育支援センターを開室しています。心に不安や悩みを持ち、不登校になったりその傾向が見られたりする児童生徒が対象です。相談希望の場合は、まずは学校にお伝えください。

開設日 月曜日～金曜日(学校の学期に準じます)
時間 午前9:30～午後2:30
電話 049-295-0622(毛呂山町教育センター)